



茨城ワイズメンズクラブ

2019 年度-2020 年度

6 月報 Vol.142

強調月間テーマ

評価

THE Y'S MEN'S CLUB OF
IBARAKI
CHARTERED 2006



国際会長主題：より良い明日のために今日を築く
 アジア太平洋地域会長主題：Action
 東日本区理事主題：勇気ある変革、愛のある行動
 関東東部部長方針：“紡ぐ”ワイズのこころ
 茨城ワイズ会長主題：“みんな～、リーダーになろうよ～”

<6月例会プログラム>

と き:2020年6月12日(金)
19:00～21:00

と ころ:筑波学園教会教育会館 1F

※オンライン開催の可能性がります

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとりう
- 1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

卓 話:片山 啓

「地盤環境学の観点からの地下水制御
対策の評価」

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「教会学校のスタッフ」

熊谷 光彦

私は20年くらい前から教会学校(日本キリスト教団筑波学園教会)のスタッフをしています。現在は新型コロナウイルス禍のため休止していますが、毎週の日曜朝の子ども礼拝(幼小クラスと中高クラスに分かれています)で何回かごとにまわってくるのが、与えられた聖書箇所を朗読し5分ほどのメッセージを子どもたちにするという当番です。

たとえば、ある日の中高生の礼拝で聖書箇所を朗読した後は…

『さっき読んだところ(マタイによる福音書5章3～12節)は、イエス様の言葉です。いろいろな人についてイエス様は、みな「幸いである」と言っています。でも、「柔和な人」や「憐み深い人」や「心の清い人」や「平和を実現する人」はそうだと分かりますが、なぜ「心の貧しい人」や「悲しむ人」や「義に飢え渴く人」や「迫害される人」を、イエス様は「幸いである」といつているのでしょうか。私は、この意味をずっと考えていましたが、なかなか答えを出せませんでした。

あるときふと、思い出したことがありました。私が中学生の時のクラス担任は、社会科の先生でした。生徒はセンマス先生って呼んでいました。私は、社会科はあまり好きではなかったのですが、このセンマス先生の授業について、ほとんど記憶がありません。でも、ひとつだけ覚えていることがあります。戦争についてセンマス先生が説明したこと。「みんないい人だから戦争になるんだ。みんな悪い人なら戦争にはならないんだよ」って。ある生徒が「せんせーそれ、逆なんじゃないの～」って言いました。するとセンマス先生は、説明してくれました。「お互いに自分が正しくて、相手が悪いと思っているからケンカになるんだよ。自分の国は正義で、相手の国が悪者だってどっちの国も思っているから戦争になるんだ。でも、自分が悪いってわかっていたら、相手のことを責められないだろう。」って。

☆今月の聖句☆

あなたがたの思い煩いを、いっさい神に
ゆだねなさい。神があなたがたのことを心
配してくださるからです。

(ペテロの第一の手紙 5章7節)



このことを思い出して、イエス様の言った言葉の意味がすこしわかった気がしました。それは「自分のことがわかっているかどうか」ということです。「自分のことを心が貧しい人だと、わかっている人は、幸いですよ」と、イエス様は言っているのだと思います。また、「悲しい人だと自分のことを思っている人は幸いですよ」と、イエス様は言っているのだと思います。逆にイエス様は「自分の心が貧しいのに、それに気づいていない人は幸せにはなれませんよ」、「自分が悲しい状況にあることに気づいていない人も、幸せにはなれませんよ」と言っているのだと思います。』

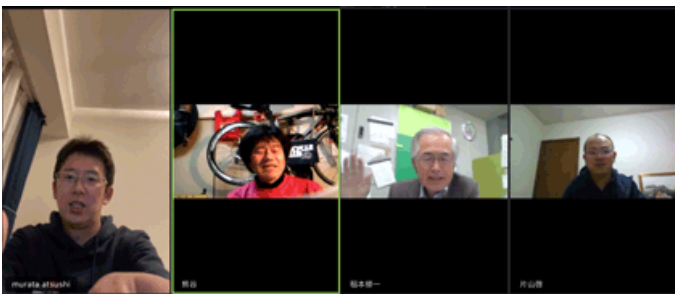
…といったおはなしを子どもたちにしました。

大人に話すのはちょっと恥ずかしいけれど子どもたちに向けてとなると、なぜかすんなりできてしまいます。そしてこれは子どもたちのためというよりも、大人の私たちが聖書を読む機会と自分が子どもだったの頃を思い出す機会を与えてもらっているようにも思えるのです。

【茨城クラブ 5月例会報告】

5月例会は、5/8(金)19時より ZOOM を用いてオンラインにて実施いたしました。ワイズメンバー4名と、連絡主事の大澤さんにより会が持たれました。ZOOM へのログインがうまくいかず参加できなかったメンバーもおり残念でしたが、おおむねスムーズにコミュニケーションを取ることができました。

3月と4月の例会がチャット形式だったため、ワイズソングの合唱とワイズ信条の唱和は3ヶ月ぶりとなり、新鮮な感覚を得ました。



協議事項としては、先月に引き続き各自の近況を報告しあい、YMCA そしてワイズ自体が苦境にあるなか、いかに縮こまり停滞することなく、いまの環境のなかでも新しいものを生み出していけるか、ということテーマに意見を出し合いました。もしこのコロナ禍が終息したとしても、なにかかもが以前のように元どおりにはならない、ということ念頭に、ワイズの活動自体がどうあるべきか、という命題は、次年度にかけて長く話し合っていくべきテーマのように感じます。大澤連絡主事からも、いまの茨城 YMCA の活動の現状、ならびにいま事実上ストップしている野外活動プログラムにおいて、オンラインツールの活用も含めていかに YMCA の活動がもたらす

効用を、いまの制約のなかでももたらしていくか、試行錯誤している現状を聞くことができました。YMCA もワイズも、きっとこの難局を乗り越えるアイデアを生み出す力があると信じております。

3か月連続でワイズメンバーのみの議論に終わったため、来月の例会ではオンライン開催のなかでも、ゲストを招いて発題していただくという話になりました。そして2時間弱の議論の後、閉会となりました。

5月例会(オンライン開催)出席状況

出席者： 会員 5名(熊谷、稲本、片山、村田、大澤)、メネット： 0名、スタッフ： 0名、リーダー： 0名、ゲスト： 0名、出席総数数： 5名、在籍者会員数： 9名、会員出席率： 56%

【会計・事務報告】

会計報告(5月)

前月繰り越し	77,834
収入	0,000
支出	▲0,000

5月8日時点残高 77,834

ワイズメンのみなさまにおかれましては、引き続き会費の前納について、ご協力を賜ればと思います。

事務局会報告

5月22日19時から20時半まで、役員5名が揃い ZOOM にてオンラインミーティングを実施いたしました。3月以降各種イベントが中止となり、ワイズとして例年並みの収入が確保できていないなかで、一時的な会費上乘せの検討や、リアルな場のイベントに頼らない形での新たな収入源確保の可能性(オンライン上で付加価値のある配信や懇親イベントを行いチャリティを募る、物資のマッチングを行いフィーを得る等)について議論をいたしました。



ワイズメンズクラブの最大の目的は『YMCA の活動を支援する』ことです。その1つとしてYMCA 維持会員になっていただいております。YMCA は会員団体であり、会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。YMCA 維持会員とは、そのような YMCA の使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCA の継続と発展に寄与する会員です。維持会員登録をご希望の方は茨城 YMCA 大澤(茨城ワイズメンズクラブ連絡主事)までご連絡下さい。

【茨城 YMCA 報告】

キャンプソング プロジェクト

茨城 YMCA において現役リーダーとリーダーOBOG が力を合わせ、自粛のさなかにある中、家で過ごさざるを得ない子どもたちに「元気を・笑顔を・歌声を・思いを届けたい、そして一緒に歌いたい」との思いから【キャンプソングを届けよう】企画が実施されました。動画撮影や編集は GW 期間を中心に行われ、参加者それぞれ「今できること」という気持ちで協力しました。

- **期間:** 5 月 11 日(月)～5 月 17 日(日)
毎朝 10 時に配信され、「Camp Song Week」として、1 日 2 曲ずつキャンプソングの動画がアップロードされました。
- **参加者:** 2006 年～2020 年度のボランティアリーダーと現スタッフ 48 名が参加しています。
- **視聴方法:** YouTube サイトで、キーワード「茨城 YMCA_まりんちゃん」で検索すると、当該チャンネルがヒットします。

5 月の報告

- 10 日(日) 中高生デイキャンプクラブ「ユースクラブ」& 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」合同例会@Zoom
- 11 日(月)-17 日(日) Camp Song Week
- 13 日(水) 国際事業部キックオフミーティング
- 16 日(土) 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」例会@Zoom
- 18 日(月) ウェルネス事業部キックオフミーティング
- 20 日(水) 全国 YMCA アフタースクール部会@Zoom
- 21 日(木) 全国 YMCA 総務担当者会@Zoom
- 21 日(木) 小学校分散登校開始
- 24 日(日) キャンプソングを歌う会@Zoom
- 26 日(火) リソースモビリゼーションチームキックオフミーティング
- 26 日(火) 子育て子育て事業推進会議@Zoom
- 26 日(金) 全国 YMCA チャリティーラン担当者会@Zoom
- 30 日(土) 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」例会@Zoom

(連絡主事 大澤)

6 月の予定

- 10 日(水) 小学校通常授業開始
- 20 日(土) 日本 YMCA 同盟協議会@Zoom
- 27 日(土) 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」

※6 月に予定しておりました茨城 YMCA 総会は書面評決にて行うこととなりました。

(連絡主事 大澤)

【編集後記】

今月号もまた、自力での編集ができず熊谷会長に助太刀いただくこととなりました。当クラブも例に漏れず、イベントが開催できなくなり財務上もなかなか苦しい状況となっています。しかしながら、ここ数ヶ月で個人的にはワイズメンバーのつながりが以前よりも増したように感じます。緊急事態宣言は解除されましたが、5 月末現在、まだまだ油断できない状況です。どんなことが起きようとも、柔軟に受け止めて知恵を絞ることが求められています。

(書記 村田)

昨年秋のチャリティーランと一緒に走った私より年上のメンバーが予想以上に速くて入賞を逃しました(チームのゴールタイムが申告タイムより速すぎたため、ちなみにタイム順なら 2 位でした)。聞いてみたところ「毎日の柔軟体操に加えて始めた毎日 100 回のスクワットの効果かな〜?」とのこと。負けるものかと私もスクワットを始めました。まず毎日 30 回から。翌 12 月は 60 回/日、1 月 90 回/日、2 月 120 回/日…と毎月 30 回プラスして 5 月現在 210 回/日。はたして効果は? 今秋のチャリティーランで確認したいと思っているのですが…。

(会長 熊谷)

